

中尾捨吉 （あきよし） 辯護士。天保十一年上佐國生乳。明治二十七年五月

十四日歿（八四—八九四）。號天行軒。水哉。水々居士。清誓致道館教

授（おくりぬか）與白隠齋（しらくわ）の學（まな）ぶ。りちうアラン大語を修め、法律を研鑽。中年司法官

となり京阪各地方裁判所勤務、廣島控訴院を最後小官を辭し辯護士開業。中江兆氏、光明寺三郎等と親交。

著書 『跋木内京五郎一代記』（水々居士名、明治十一年一月二十日横

大阪・政友學會全藏版）、『良知』（吉本襄註釋、野宮松太郎編、明治

四十四年十一月二十一日參天閣出版部）等。